



令和4年 知事年頭挨拶

静岡県知事

川勝 平太

皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年にもコロナ禍の一年となりました。医療従事者をはじめ、皆様には感染防止に丸となって取り組んでいただき、感謝申し上げます。

昨年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に開催県として貢献できた一方、熱海市伊豆山の土石流災害にも見舞われました。

今年は、新しい総合計画を策定します。「東京時代から静岡時代へ」をスローガンに、具体策を講じながら、県民幸福度の最大化を目指し、誰一人取り残さない富国・有徳の美しいふじのくにづくりを推進します。

最優先する政策は命を守る危機管理です。防災だけでなく防疫を加えた防災・防疫がこれからの本県の危機管理の2本柱です。

防災については、地震・津波・台風・集中豪雨などへの対策を一段と強化します。特に県内の盛土の危険箇所を徹底調査し、厳格な規定を盛り込んだ条例を制定します。防疫については、新型コロナウイルスに対する医療提供体制の充実を図り、今後の感染症の流行も視野に入れ、感染症対策の拠点施設の設置を検討しています。

経済政策については、昨年来の「生産と消費の新しい好循環」を創出する「フジノミクス」を充実させます。短期政策として、大きな打撃を受けた飲食・観光産業を励ますため、DXをフルに活用して、食文化（ガストロノミー）と観光とを一体化させた「ガストロノミーツーリズム」を、山梨・長野・新潟の三県と連携した「バイ・山の洲」で推進します。中期政策として、本県の医薬品・医療機器生産金額が10年連続全国一であり、かつ健康寿命が世界トップクラスであるという地域特性を生かし、ヘルスとウェルスを一体化させる医療健康産業をリーディング産業に育てあげます。中長期的な政策として、脱炭素とSDGsを実現する地域循環共生圏を地域ごとにつくり上げます。

スポーツ・文化政策については、本県開催の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の自転車競技」と「ラグビーワールドカップ2019」の成功を未来につなぐレガシーに昇華させるため、今年稼働する「スポーツコミッション」と昨年設置した「アーツカウンシル」という二つの推進母体によって、スポーツの聖地と文化芸術の花咲く地域を目指します。

静岡県は富士山をはじめ豊かな自然に抱かれています。白雪は溶けて清冽な水になります。

富士の峰 幾年くくる 白雪の 清き 水湧く 柿田川かな

という歌にあるように、霊峰に降る白雪は美しい水の循環のシンボルです。富士山や南アルプスなど世界クラスの絶景を擁する私たちは改めて自然のもたらす恵みとともに「水」について考え、見直す一年にいたしましょう。

結びに、今年一年の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます、年頭の御挨拶といたします。

しずおか健康長寿財団 だより 39

第8回 ふじのくに健康づくりポスター・標語コンクール入賞作品紹介

静岡県及びしずおか健康長寿財団では、創作過程を通じて学校や家庭などで健康づくりについて考えてもらう機会を増やしたいという目的で、県内の小・中・高等学校・特別支援学校の児童生徒から、健康づくりに関するポスター・標語を募集しました。

「運動・身体活動」「食育」の2つをテーマに出品を募集したところ、ポスター526点、標語793点、計1,319点の応募があり、各部門で入賞作品を決定しました。今後は県内各地で展示を実施する予定です。

素晴らしい作品の中から各部門の最優秀賞（静岡県知事賞）を御紹介します。

ポスターの部

小学生
高学年



浜松市立有玉小学校6年
後藤 柚月さん

小学生
低学年



静岡大学教育学部附属浜松小学校3年
堤谷 柚希さん

高校生



静岡県立浜松工業高等学校2年
和久田 悠奈さん

中学生



袋井市立周南中学校3年
小島 葵さん

標語の部

運動・身体活動

夕焼けに 歩いてふれる ふじの四季

浜松日体中学校3年 菊池 優利菜さん

食 育

もく食でも 心は感しやの いただきます

浜松市立有玉小学校4年 高林 陽香さん

<保健指導講話>

AYA世代のがん ～思春期・若年成人のがん～



川口 知香

浜松健診センター
保健師

●頻度と種類

AYA世代のがんは、年齢階級ごとに頻度の高い疾患が異なります。15～19歳では、小児期と同様に白血病、脳腫瘍、リンパ腫が上位を占めますが、性腺腫瘍、骨腫瘍、軟部肉腫、甲状腺がんがそれに続きます。20～29歳では、性腺腫瘍（特に胚細胞腫瘍）、甲状腺がんが多く発症します。30～39歳では、乳がん・子宮頸がんが急増し、性腺腫瘍、大腸がん、胃がんがこれに続きます。

●AYA世代特有の課題と対策

AYA世代は、「患者も医療者もがんを疑にくい先入観」や「健康診断や医療機関が身近にない環境」のため、確定診断に至るまでに時間がかかる傾向があります。またいったん診断がついたとしても、標準的治療が不順守となりやすい特徴が明らかとなっています。前半のA世代では、同世代との交流、親密な情緒的関係の構築、親からの自立等の社会性が発達段階にあることに加え、学業や就労の遅れや中断が不安材料になります。家庭や社会での活動が生活の中心となるYA世代では、子育て・親の介護・就労への影響が懸念されます。一方で、40歳以上であれば、自宅療養で利用できるはずの介護保険制度がAYA世代では適応されていないという制度上の空白地帯があります。

そんな中、AYA世代がん支援体制の構築として、医師の研修の他、多職種専門職の育成、希少がん拠点病院に症例を集約する動きも出てきています。経済的なサポート体制として、静岡県内の一部の市町では“若年がん患者等支援事業”として補助金が利用できる制度があります。

●終わりに

「まだ、自分のがんができるような年代じゃないから」と思わずに、クーポンを利用し積極的に検診に行って、身体不調のチェックを欠かさないようにしていただきたいと思います。



参考・引用資料

厚生労働省：平成27-29年度厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「総合的な思春期・若年成人（AYA）世代のがん対策のあり方に関する研究」（研究代表者：堀部敬三）、「医療従事者が知っておきたいAYA世代がんサポートガイド」、金原出版株式会社

これでなく茶 やさしさのブレンド

中北薬品株式会社

名古屋市中区丸の内3丁目5番15号 油伊ビル

販売者／〈お問い合わせ先〉 有限会社キスラ

名古屋市西区天塚町4丁目66番地 TEL (052) 528-5567

なかきたオンラインショップ 検索

名古屋城本丸御殿 復元を応援します。